

客室に奈良空間



正倉院宝物をイメージしたミニ行灯が置かれたコンセプトルーム「華」＝奈良市のホテル日航奈良



小さな子ども連れの家族を意識した「バンビルーム」には、鹿をモチーフにした机や椅子などが置かれている＝ホテルアジュール・奈良提供

内装、社寺や鹿をイメージ

ホテルの中にテーマを持った一室を設ける「コンセプトルーム」が、奈良でも誕生している。社寺や鹿など、奈良らしい内装やイメージを打ち出しているのが特徴だ。

コンセプトルームは、宿泊客の満足度を高めようと全国のホテルが導入。人気アニメ「機動戦士ガンダム」や「ゲゲゲの鬼太郎」、キティちゃん、トミカなどをテーマにした部屋が話題を呼んでいる。

ホテルアジュール・奈良（奈良市油阪町）がつくったのは、奈良の鹿をモチーフにした「バンビルーム」。小さな子ども連れの家族を

対象に、9月17日から提供を始めた。鹿形の玄関マットが迎えてくれる板張りの部屋には、壁に鹿の家族のイラストを飾り、鹿の「ゲザイン」の机や椅子、木のおもちゃも置いている。

部屋のコセプトを考案した広報担当の星川チエミさんは「私も子どもがいるので、自分があったらいいなという部屋をイメージした」。夕食はルームサービス

ホテル「今後も新たに」

スにし、母親や子どもが落ち着いて食事できるようにしたほか、部屋専用のベビーカーも用意した。大人1人あたり1万3500円からで、未就学児は無料。

ホテル日航奈良（奈良市三条本町）は部屋にいても奈良を感じてもらおうと、6月に東大寺、8月に春日大社と興福寺をそれぞれイメージした客室をつくった。

東大寺の部屋「華」には正倉院宝物をイメージしたミニ行灯を置き、大仏殿の写真を飾っている。ベッドライナーは、春日大社の部屋「朱」では鹿柄、興福寺の部屋「相」では阿修羅像の衣に描かれた宝相華文が入っている。

いずれも9階東側であり、興福寺五重塔や東大寺大仏殿が部屋から眺められる。各部屋には手作りのミニアルバムを置き、スタッフが勧める各社寺の魅力を写真入りで紹介するサービスも始めた。

広報担当の高場順子さんは「奈良でしかないコンセプトルームを目指した。今後も価値を感じてもらえる試みを続けたい」と話す。12月30日までで、1泊朝食付きで1人1万7500円（2人利用の場合）。

（渡義人）